

地質ニュース

昭和 60 年 7 月

第 371 号

1985

地質調査所初期の地磁気観測 百年史の一こま(1)	佐藤博之	6
伊豆三宅島の貝類を1983年噴火に知る	磯部一洋 正井義郎	16
破砕岩盤の水理解析に関する話題	小鯛桂一	23
東南アフリカ事情 (1) 国連東南アフリカ鉱物資源開発センター (Eastern and Southern African Mineral Resources Development Centre. ECA/ESAMRDC)	高橋清	28
日本のホウ素資源と水溶型ホウ素鉱床 (その2)	福田理	40
地質調査所所蔵の本邦産白亜紀化石	田中啓策	56
ドイツ ザール炭田の切手	P. Q.	27
高山 TAKAYAMA	山田直利 足立澄雄 梶原智 原山晴 山豊遙秋	63

口 絵

黒潮の海に棲む貝類

磯部一洋
正井義郎

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

8月号予定目次

伊豆三宅島の南東部海岸で採取された貝類

サンゴなども含んだこれらの貝類は 1983年10月3日の三宅島噴火直後 島内の一部の海岸において 黒い砂礫の浜を白くするほど多量に打ち上げられていました。写真の最上列右から3番目のフクトコブシが最も多く打ち上げられ 島の漁業被害を大きなものになりました。

色の消えかかった貝化石を調べている者にとって 色のついた現棲貝類の貝殻は大変美しく かつ新鮮に思われます。採取された貝類が亜熱帯的な暖かい浅海に棲む種類のせいかわかりません。

口絵と本文中にも同じ貝類の白黒写真が掲載されています。その都度表紙の写真をご参照下さい(文 磯部一洋)。

ブラジルのカーボナタイト鉱床(2)

博覧会と地質調査所

百年史の一こま(2)

日本にもあった?リチウム資源

有馬温泉の地質と地球化学

ニュージーランドにおける

“太平洋地域の最近の地殻変動”

に関する国際シンポジウムに参加して

海外室日より